

中長期的な展望

どのような状況でも経済活動が止まらない強しなやかな社会の構築に向けて世界は今後もICT（情報通信技術）を強力に実装するとともに、これを支えるコンピュータ技術もさらなる発達を続けていくことが予測されます。また革新的な技術の進化と実用化により、人と社会があらゆる面でつながりサステナブルな世界が実現されると期待されています。このような状況において半導体は社会のインフラとしてその重要性がさらに増し、大容量化や高速化、高信頼性や低消費電力化などの技術的な要求が高まり、半導体市場もより多様な形で進化していくと考えられます。

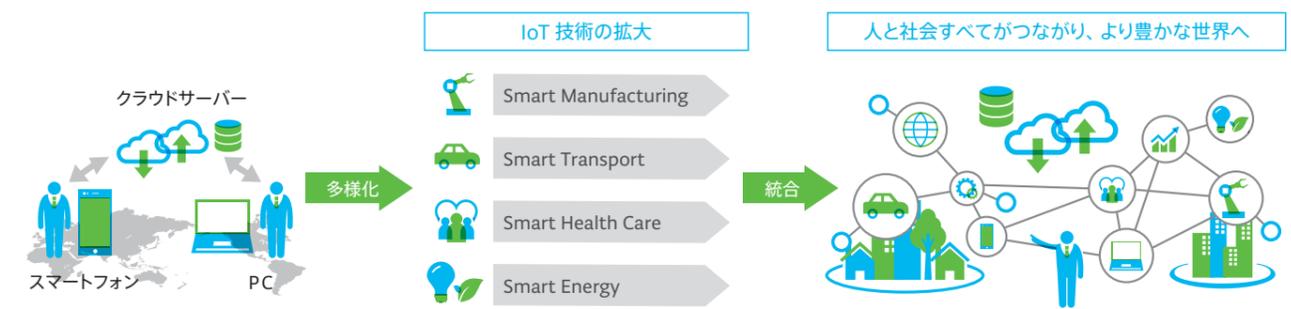
半導体製造装置事業においては、最良のソリューションとともに超高生産性と環境負荷低減を実現する製造方法を通して新たな価値を提供していくことが不可欠です。併せて2050年までの温室効果ガス排出量を実質ゼロにするネットゼロを確実に実現することや、人的資本に対する投資を継続的かつ積極的におこなっていくことが重要です。

当社は中長期的な事業像やあるべき将来像を指し示したビジョンの実現と、存在意義（Purpose）や社会的使命として定義した基本理念の実践により、当社を取り巻くすべてのステークホルダーのご期待に応えていきます。

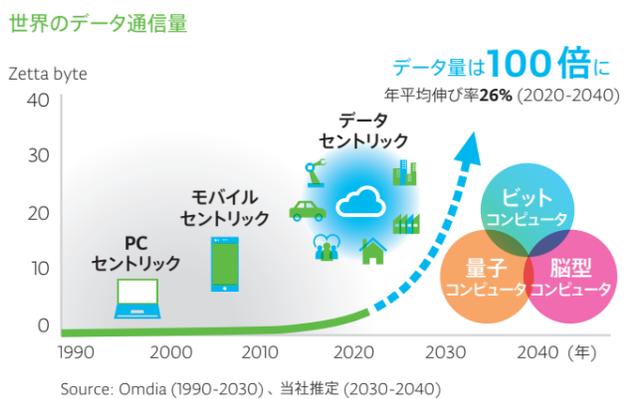
テクノロジーの進化

近年、スマートフォンやタブレット端末、クラウドサーバーの拡大によって、社会全体におけるデジタル化が急速に進んでいます。5G / 6Gの普及やIoT、AI技術の進化とともに、自動車のEV化や自動運転、スマートシティの発展、工場・農業・医療・エネルギー分野における産業のスマート化など、大量のデータを高度に活用した

さまざまなサービスやソリューションが生み出されています。これらは私たちの生活をより一層便利にするとともに、社会が抱える環境や人口などの諸問題の解決にも寄与することが見込まれています。テクノロジーの進化により、人と社会があらゆる面でつながり、サステナブルな世界が実現されると期待されています。



テクノロジーの進化とともに、情報処理を担うコンピュータ技術もまたさらなる発達を続けています。PCやサーバーなど数学的な処理をおこなう従来のビットコンピュータに加え、量子コンピュータや人間の脳の動きを模倣した脳型コンピュータなどの革新的な技術の実用化が期待されています。今後これらが社会に普及するにつれデータ通信量は飛躍的に増加し、2040年までに2020年の100倍になると予測されます。膨大な量のデータが処理されることでコンピューティングによる電力消費量の急激な増加も見込まれ、性能の向上と低消費電力化の両方を実現する新たなテクノロジーが求められています。

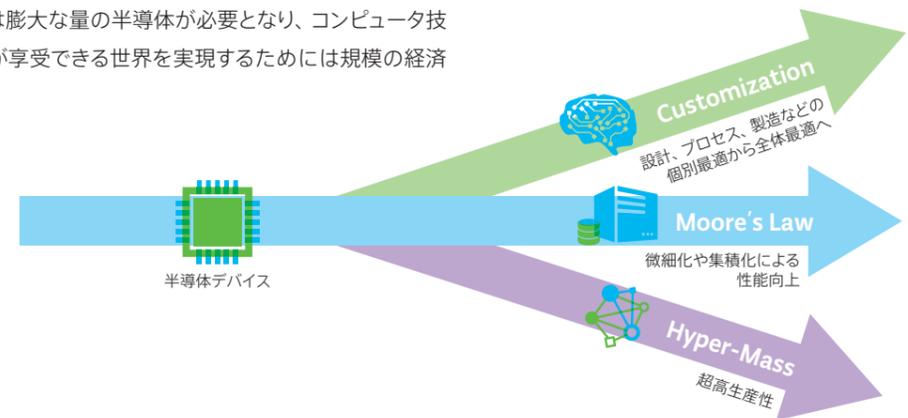


半導体の未来

コンピュータ技術を支える半導体市場は、今後より多様な形で進化していくと考えられます。半導体の性能はこれまで微細化や集積化によって向上してきましたが、大量のデータを高速かつ低消費電力で処理できるコンピュータ技術の実現のため、さらなる性能向上に対する要求が高まっています (Moore's Law)。またアプリケーションやサービスの多様化に伴い、半導体の設計や製造技術およびシステム全体を用途に応じて最適化していくことが求められています (Customization)。さらに大容量のデータ通信やそれらの処理・解析には膨大な量の半導体が必要となり、コンピュータ技術の恩恵を誰もが享受できる世界を実現するためには規模の経済

による半導体の低コスト化が必要です (Hyper-Mass)。

半導体製造装置メーカーにとっては、微細化や集積化における技術およびコスト面での課題を解決すること、半導体を製造するお客さまの多様な要望に対してそれぞれに最良のソリューションを迅速に提案すること、そして極めて高い生産性と環境負荷の最適化を実現する製造方法を提供することが、これからの価値創造における鍵となっていきます。



サステナブルな社会の実現に向けて

当社は、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むTSV (TEL's Shared Value) という考えに基づき、革新的な技術を継続的に創出することでさらなる価値の提供に努めていきます。2022年6月には新たなビジョンと中期経営計画を策定し、財務およびサステナビリティに関する重要指標を定め、それらの達成に向けた取り組みを推進しています。

環境においては中期目標に加えて、長期目標として温室効果ガス (GHG) 排出量を実質ゼロにするネットゼロを2050年までに実現することを宣言しています。すべての事業所において再生可能エネルギーの使用比率を100%にすることを含め自社排出量を削減するとともに、装置や付帯設備の省エネ化、GHGの代替ガスを用

いたプロセス開発など、製品のエネルギー効率を向上する技術の開発にもお客さまやお取引先さまと協働に取り組んでいきます。また、「企業の成長は人。社員は価値創出の源泉」という考えのもと、人的資本に対する投資も継続的かつ積極的におこないます。組織と社員における相互信頼の構築に努め、エンゲージメントを高く保つことで、「半導体の技術革新に貢献する夢と活力のある会社」というビジョンを実現します。

半導体製造装置メーカーとしての専門性とあらゆる経営資源を生かして中長期的な利益の拡大と継続的な企業価値の向上を図り、「最先端の技術と確かなサービスで、夢のある社会の発展に貢献します」という当社の基本理念を実践していきます。

